

JAしまね おひより

2026
1

January
Vol.118

Shimane
Biyori



特集 2026年も島根の食を支えます!!



SNSで旬な情報を
投稿しています



©よい食P



JAしまね 西いわみ地区本部版



初春のお喜びを申し上げます 役職員一同



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

代表理事組合長
竹下克美

組合員の皆様には、平素よりJAしまねの各事業に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年6月の役員改選において、統合10周年の節目を迎えたJAしまねの代表理事組合長に就任いたしました。新たな役員体制のもと、組合員・利用者の皆様のために、さらなる努力を重ねてまいる所存です。

さて、農業や地域社会を取り巻く環境は、生産基盤の弱体化や生産資材価格の高騰・高止まり、気候変動に伴う高温障害の拡大・自然災害の多発化など、さまざまな課題に直面しており、農業経営は非常に厳しい状況にあります。

そのような中、JAしまねでは農家の生産意欲や次世代への継承を後押しする思いを込め、過去最高額となる60kgあたり28,400円の概算金をいち早く決定いたしました。さらに、生産者の営農の継続性と出荷契約数量の増加につなげるため、今までの単年契約に加え、新たな取り組みとして複数年契約を導入し、米の集荷拡大に努めてまいりました。

一方で、過剰生産による価格の下落を不安視する生産者も多く、適正価格での安定供給が消費者・生産者双方にとっていかに重要であるかを改めて認識しております。今後も、こうした課題に対応するため、政府に対して適切な政策の実現を求めるとともに、消費者の理解醸成に取り組んでまいります。

また、島根県の農業の多くは中山間地域で営まれております。地域ごとに異なる課題に向き合い、多面的な価値を評価しながら、政策的な支援や環境保全も含めて事業を展開してまいります。農家・組合員との直接の対話や共感を大切にし、スマート農業やデジタルトランスフォーメーション（DX）化にも積極的に取り組みます。JAコネクトという情報共有アプリを活用し、組合員とJAをリアルタイムで結びつけることで営農活動の向上、業務効率化や生産現場の省力化を図ってまいります。

そして、我々の最大の使命である農業振興を実践するためには、引き続き事業改革に取り組んでいかなければなりません。地区本部制の評価を踏まえつつ、管理部門の効率化・集約により人的資本の再配置を進め、地域ごとの営農振興と全体最適の両立を目指します。令和10年4月の「新たな運営体制」への移行に向け、組合員・利用者の皆様に丁寧な説明を重ね、ご意見をいただきながら合意形成を図ってまいります。

結びとなりますが、組合員の皆様にとりまして本年が実り多く、健康で明るい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

J Aしまね女性部

部長 高 橋 美佐子



新年あけましておめでとうございます。

日頃より女性部の活動へご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちJAしまね女性部が掲げる三か年計画は、「あい♡」からはじまる「元気な地域」をみんなの力で創ることです。これまでの活動をさらに発展させ、JAを拠り所に仲間とともに「元気な地域」づくりに貢献する決意を新たに、組織活動を実りあるものにしてまいります。

また、女性リーダー育成の推進や地域の子育て支援など、次世代につなぐ取り組みも強化してまいります。私たちの活動はSDGsそのものであり、日々の取り組みが日常生活の課題解決へ向けた一歩になることを、一人一人が意識しながら展開していきます。

最後になりましたが、今年も皆様が笑顔で過ごせるよう、地域や生活に密着したJA女性部ならではの活動を目指してまいります。今後とも私たち女性部に変わらぬご指導・ご協力をお願いするとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

島根県農協青年組織協議会

会長 村 上 淳 一



新年あけましておめでとうございます。

日頃より島根県農協青年組織協議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当協議会は令和6年に創立70周年という節目の年を迎え、本年度記念事業を実施し、関係各位の皆様の多大なるご理解とご協力により、無事成功裏に終えることができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。これまで先輩方が築き上げてこられた歴史と実績に敬意を表すとともに、その思いを必ず次世代へつないでいきたいと強く決意しているところでございます。

また、令和の米騒動、備蓄米の放出など変化の激しい農業情勢の中で、島根農業の持続的な発展には、次世代を担う人材の育成が不可欠です。子どもたちや地域住民の皆様に農業の魅力や大切さを伝える地域に根ざした食農教育の充実を図り、「食」と「農」を身近に感じてもらえる活動を盟友一丸となり推進してまいります。

加えて、青年組織の原点でもある仲間づくり活動を大切にし、世代や地域をこえて島根の大地にしっかりと根を張り、絆を深めることで、ともに夢を描き、学び、磨き、挑み続け、島根農業の未来を創る原動力となるような組織づくりを進めていきます。こうした取り組みを通じて、農業に直接携わる人だけでなく、農業を応援し、関わる関係人口の増加にもつなげていきたいと考えております。本年も、地域の皆様、JAとともに歩み、島根農業の未来を切り拓く青年組織として、挑戦を続けてまいります。皆様の変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって実り多き一年となりますことを心より祈念し、新春のごあいさつといたします。

しまねの ファーマーズ

Shimane farmers

地域の農地を守るために

三瓶山のふもと、山あいに広がる三瓶町志学地区。昔から農業が営まれてきたこの地区では、少子高齢化が進むにつれ、「この先、農地をどうやっていくか」という課題が意識されるようになつてきました。10年以上前から、地域で助け合いながら農地を維持してきましたが、令和元年に任意の営農組合を設立。国の制度を活用しながら圃場整備を進め、環境を少しずつ整えてきました。そうした歩みを土台に、令和7年に「農事組合法人志学みなし」として新たに



山あいに広がる白ネギ畑では収穫作業が進んでいます

歩を踏み出しました。
組合員は土地所有者も含め20人以上います
が、実際に活動できるのは10人ほど。ほとんど
の人が仕事をしながら法人の活動に参加しています。同法人の代表を務める寺本辰男さんもその一人。これまで地元の職場で働いてきましたが、現在は引き継ぎの時期を迎え、少しずつ農業の時間を増やしています。

一年をかけて育てる、白ネギ

栽培の中心は水稻で、白ネギは全体の1割ほど。それでも白ネギは、秋から冬にかけて同法人を支える欠かせない作物です。

機械化は「続けるため」の工夫

同法人の営農を支えているのが、積極的に取り入れてきた機械化です。定植には、チエーンポットの苗を引っ張って植え付ける道具を使用。収穫時には、機械で横を掘って抜きやすくしてから、手作業で抜いていきます。かつては鍬で一本ずつ掘り起こしていたことを思うと、



収穫は11月上旬から1月中旬と限られた期間ですが、3月から定植が始ままり、夏は病害虫防除を重ね、秋には土寄せを行なうなど、ほぼ一年を通して畑と向き合っています。



白ネギを収穫する寺本さん

今月は石見銀山地区本部。大田市の山間部で白ネギと水稻の栽培に取り組んでいる「農事組合法人志学みなし」代表の寺本辰男さんにお話を伺いました。

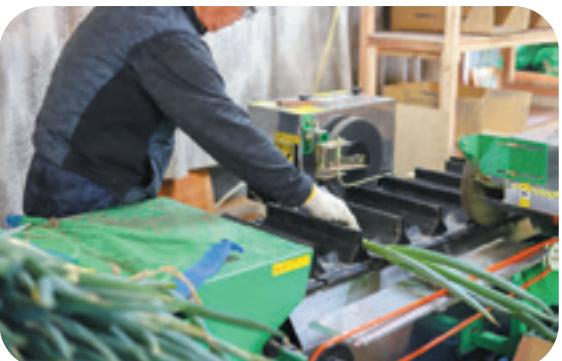
寺本辰男さん



体への負担は大きく軽減されました。

一方で、トラクターを動かせるように畠間を広く取る必要があり、植え付け本数が少なくなるという課題も。それで

も、「体が楽でないと続かない」と寺本さんは話します。年齢を重ねる中で、農業を続けていくための選択です。



収穫した白ネギは根と葉を切り、外皮を剥く出荷調製が行われます

ないため、寺本さんは「野菜作りは、兼業ではなかなか難しい」と語ります。

さらに悩ま

されているのが、鳥獣害です。イノシシは柵である程度防げるものの、厄介なのは猿。群れで現れ、白ネギの白い部分だけを狙って食べてしまします。「甘いところしか食べないんだよね」と苦笑いの寺本さん。自然と向き合いながら、その都度対策を重ねています。



白ネギを結束機で束ねる寺本さん

野菜作りは、毎日向き合う仕事

農業は、天候に大きく左右されます。特に露地野菜である白ネギは、山に囲まれた立地による日当たりの制限に加え、気温や雨の影響も受けやすく、育てるのが難しい作物です。防除は、適切な時期を逃せば、その後の生育に大きく影響します。収穫のタイミングについても同様。「今日は仕事だから」と対応を後回しにすると、後々まで響き、出荷できなくなることもあります。毎日の変化を見ながら手を入れていかないと、良いものは作れ

生産性を高め、次へつなぐ

法人化を経て、寺本さんが意識しているのが「生産性を上げること」です。新しいメンバーを迎えるにあたるものの、まずは安定して良いものを作り、出荷できる体制を整えることが先決だといいます。当初は、定年を迎えたら手が空くメンバーが増える想定でしたが、働き方の変化でそうもいかず。それでも「ここから数年で、毎日畑に関わる人は増えていく

石見銀山白ねぎ

大田市では三瓶のふもとから海に近い平地で「石見銀山白ねぎ」が栽培されており、この標高差を活かしたリレー出荷が行われています。寺本さんの好きな食べ方は鴨鍋！白ネギと甘い出汁との相性が抜群なのだとか…♪鴨肉は豚肉などで代用してもGOOD！



ら、同法人の當農は続けています。
寒さが増すほど甘みを蓄える冬の白ネギ。

地域の人の手と努力が重なり、この冬の食卓へと届けられています。



と思う」と期待を込める寺本さん。毎日作業ができる体制が整くなり、結果として生産性の向上につながっていきます。

そうした展望を視野に入れながら、同法人の當農は続けています。

寒さが増すほど甘みを蓄える冬の白ネギ。

地域の人の手と努力が重なり、この冬の食卓へと届けられています。

2026年も 島根の 食

を支えます!!

今年は午年馬。馬の力強く、活発に駆けまわる姿から、新しいことに挑戦したり、積極的に行動したりするのにぴったりな年と言われています。1月号の特集では、島根の食を支える生産者の皆さんに、今後の目標や頑張っていることなどを聞いてみました😊✨

やすぎ地区本部



安来市広瀬町 角 慶斗さん

安来市に1ターンし、2年間の研修を経て令和6年9月に就農。2年目となり、ハウス2棟でイチゴを栽培し、JA共選出荷を目指して、安定した栽培基盤の確立に取り組んでいます。地域の皆さんや先輩イチゴ農家の皆さんに支えてもらいながら、安定的に出荷できるよう頑張ります。



くにびき地区本部

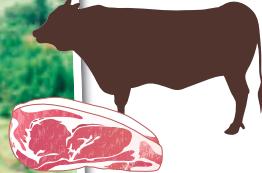


松江市八束町 松尾 京亮さん



松江市への1ターンにあたり、食や生き物への関心が強かつたことから農業に興味を持ち、就農しました。現在は八束町特産のハマボウフウを施設で、トウモロコシなどを露地で栽培しています。就農1年目の経験を糧に、2年目からは規模を拡大し、農業に取り組もうと考えています。

隠岐地区本部



隠岐の島町 有限会社村上建設 寿畜産

たくさんの人に隠岐の牛の良さが伝わるよう、元気いっぱいに活動していきたいです。また、隠岐の牛を通して、隠岐の島を全国の人に広く知ってもらえるきっかけ作りができるような取り組みも行っていきたいです。

雲南地区本部



雲南省三刀屋町 板倉 菜摘さん



令和5年から島根県立農林大学校で学びながら、一昨年は雲南省内の農家で研修し、昨年1ターン移住し新規就農しました。白ネギやナスを中心栽培しています。今年から6月どりの白ネギ栽培を始め、長期間出荷の体制を整えます。今後は土壤医の資格取得を目指し、栽培知識の向上に努めています。

出雲地区本部



出雲市湖陵町 石飛 葵惟さん

今年で就農2年目を迎えます。農業を営む父の背中を見て育ったことが農業の道を選ぶ大きなきっかけとなりました。作物の生育をしっかり観察し、対話するような気持ちで日々サツマイモと白ねぎの栽培に取り組んでいます。これからも安全安心な農産物を届けられるよう頑張ります。



石見銀山地区本部



大田市久手町 株式会社農援隊清滝牧場 中原 一馬さん・野笑さん

肉用牛を中心に父のもとで兄妹と従業員で力を合わせ、400頭を飼育しています。耕作放棄地で放牧するなど、豊かな自然の中でストレスを極力与えない環境づくりに取り組み、畜舎の事務所では精肉の販売も行っています。今後も品質管理に重点を置き、厳しい情勢が続く畜産業界を少しでも盛り上げたいです。



いわみ中央地区本部



浜田市旭町 上野 尚也さん

令和7年に滋賀県からリターンし、浜田市旭町のふるさと農園で梨の栽培に取り組んでいます。この他にも、出荷される梨の梱包や選定作業など栽培から出荷まで行っています。今後はさらに旭町の梨を盛り上げるために、自分で梨園を運営していくよう、ふるさと農園で研修を頑張っていきます。



島根どうぜん地区本部



海士町 大人の島留学 農業プロジェクト

作、果樹栽培に取り組んでいます。自分たちで育てた野菜を島内各所に卸して地産地消への貢献や特産品の魅力発信に力を入れています。島の農業を未来につなぐため、若者が農業に触れたくなる仕組みを作りたいです。



大人の島留学制度で来島した16人の島留学生が農家さんの指導のもと、稻作や畑

斐川地区本部



出雲市斐川町 田代 稔さん

に1ターン。島根県立農林大学校を卒業し平成30年4月に就農しました。先輩からたくさんの技術を学び、就農して5年後には経営も軌道に乗りはじめました。品質をさらに向上させ、島根のおいしいブドウを届けられるよう頑張ります。



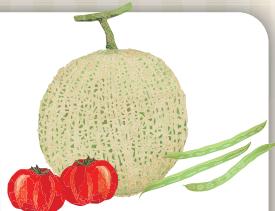
東京で立ち寄った就農フェアでブドウ作りに魅力を感じ、妻の故郷である島根県

島根おおち地区本部



美郷町 木村 蓮さん

マトを中心にサヤインゲンや葉物野菜、メロンを組み合わせて栽培しています。水稻の栽培にも力を入れ、多角化経営を図り、経営の安定を目指して日々全力投球で頑張ります。



島根県立農林大学校を卒業後、昨年4月に地元で就農しました。ハウスで中玉ト

西いわみ地区本部



益田市飯田町 都野守 彬人さん

います。特にイチゴは土耕栽培にこだわって、自然の土の力で味の濃いものを生産し、産直コーナーなどで販売しています。ハウス面積を拡大するため連棟ハウスを建設中で、今後はメロンの栽培面積を増やしていきたいです。



令和4年から祖父が遺したハウスでメロンやミニトマト、イチゴなどを生産して

J Aしまねの竹下克美組合長ら本店常勤理事は、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。

農業の現場から声をつなぐ ～ふれあい訪問記～

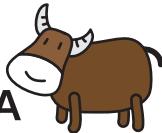


今回の
訪問先

J Aしまね やすぎ地区本部管内

●おおもりファーム合同会社

●農事組合法人とねの里SAWA



「おおもりファーム合同会社」の大森代表社員

「おおもりファーム合同会社」は、イチゴを中心にはブドウやメロンを生産する他、イチゴ狩りを展開しています。夏場の高温化で苗作りが難しくなっていることを受け、令和5年から標高の高い広島県庄原市高野町にハウスを借りて育苗や夏イチゴを栽培するなど新たな取り組みにも挑戦しています。同社の大森雄介代表社員と、イチゴの高設栽培を活用したメロン栽培や生産したイチゴをロスがないように売り切る取り組み、ハウス建設費が高騰する中でのJAに向けた事業展開の提案など活発に意見を交わしました。大森代表社員は「貯金に比べて貸出が少ないのでJAの大きな課題の一つと考えている。若い世代に投資し、農業が産業として成り立つような使い方はでき



大森代表社員にイチゴの高設栽培や取り組みについて説明いただきました

ないだろか」と要望しました。「農事組合法人とねの里SAWA」は、「収量を上げる」「担い手の確保」「農地を守る」の3点を重点事項として掲げ、令和6年2月に前身の沢営農組合を法人化し誕生。水稻を中心に大豆やタマネギなどを生産しています。同法人の作野幸憲組合長、勝部量夫副組合長、作野喜美機械担当理事、細田弘一事務局長は、法人の概況や昨年から導入した緑肥（レンゲ）を活かした祭りの開催の他、農業用ヘリ・ドローンの活用や湛水直営の実施、當農支援システム「アグリノート」の導入など當農組合時代からスマート農業を積極的に取り入れていることを説明。その後、令和8年産米の作付方針や需給動向、スマート農業導入による効果や今後



写真左から「農事組合法人とねの里SAWA」の作野組合長と勝部副組合長、作野機械担当理事、細田事務局長



「農事組合法人とねの里SAWA」の皆さんと意見交換を行いました

の課題、担い手確保に向けた同法人の取り組みなどについて意見交換しました。



女性大会＆家の光大会を開催 最優秀賞にくにびきの中島さん



想いを込めて発表する中島さん

J Aしまねと J Aしまね女性部は12月4日、出雲市のラピタウェディングパレスで第39回 J Aしまね女性大会並びに第26回島根県家の光大会を開きました。『家の光』愛読者や女性部員、 J A役職員ら約220人が参加。家の光記事活用体験発表ではくにびき、隠岐、石見銀山の3地区本部が発表し、最優秀賞にくにびき地区本部の中島和子さんが輝きました。

中島さんは、「地域の子どもは地域で育てる」という願いで立ち上げたくにびき女性部の読書グループ「ゆりかごの会」で、『家の光』記事を活用しながら読み聞かせ活動を女性部や地域に根差した活動に発展させていったと発表。中島さんは2月の都道府県代表体験発表大会に県代表として出場します。

また、当日は家の光三誌普及実績表彰や『家の光』記事を活用した作品展示、アーティストの汰生喜さんと澤田利明さんによるクリスマスライブなどを行いました。

しまね和牛の特別抽選を行う
珍部誠専務（中央）

令和7年度水稻有機栽培研修会を開催

J Aしまねは12月12日、出雲市の当 J A営農経済本店で令和7年度水稻有機栽培研修会を開き、生産者や島根県、J Aの指導員ら約60人が参加しました。

研修会では、J A全農や島根県、当 J Aから水稻有機栽培で最大の課題である雑草対策や雑草に負けない苗作り、J Aによる栽培試験結果、島根県の支援事業などについて情報を共有しました。島根県農業技術センターの安達康弘さんは、イトミミズのフンが堆積し作られる「トロトロ層」によって雑草の種や茎葉部が埋まり、雑草の発生や成長が抑制されると解説。さらに冬期湛水や早期湛水をすることで土壤中のイトミミズが増え、「トロトロ層」が形成されやすくなると説明しました。

参加者から「慣行栽培から有機栽培に変えた水田にもイトミミズは生息しているのか」「秋起こしの際に稻わらの分解を促進するために入れた方がいいものがあるか」など質問があがり、活発な意見交換が行われました。



雑草対策について耳を傾ける参加者ら



中国・四国地区JA青年大会で 出雲青年連盟の正木さんが最優秀賞に輝く！

11月27日に鳥取県で令和7年度中国・四国地区JA青年大会が開催され、島根県代表として「JA青年の主張」に出場した、出雲青年連盟の正木原野さんが最優秀賞に輝きました。

正木さんは「農業は未来を創る仕事だ！！！！」と題し、自身の農業の歩みとその中の苦労や気付きを発表。「農業は一人ではできない。家族や仲間、地域、JA、自然があってこそ。このつながりを大切にしながら農業の道を歩んでいく」と想いを伝えました。

「JA組織活動実績発表」では、斐川青年連盟の坪内雅さんが「耕せ 斐川～食農教育・農政活動で持続可能な農業を～」と題し、青年連盟の主な活動や今後は食農教育と農政活動を発展させていくことを発表しました。

正木さんは2月に東京で行われるJA全国青年大会に地区代表として出場します。

中国・四国地区JA青年大会で
堂々と発表する正木さん

新年のご挨拶

J Aしまね西いわみ地区本部
常務理事 本部長

竹 長 隆



新年あけましておめでとうございます。組合員・利用者の皆さまにおかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和7年6月のJ Aしまね通常総代会の役員改選において、田村清己前本部長から引き継ぎ7カ月が経過いたしました。西いわみ地区本部の運営につきましては當農経済事業や信用共済事業など、全般にわたる格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

昨年は、続く円安の進行と物価高騰による消費の低迷や、温暖化の進展等異常気象の常態化で、農畜産物の育成生産販売に予断を許さない一年でありました。

また、農村部を中心とした過疎化・高齢化が進み担い手不足が深刻化しており、J Aにおきましても職員の確保や育成を含めた組織基盤の対応強化を引き続き進める必要があります。

このような背景のもと米価につきましては、1等60キロ当たり28,400円の買い入れ価格を設定させていただきました。栽培ごよみに基づく肥培管理や病害虫防除等生育ステージに沿った講習会を開催し、良質米の生産に向けた當農指導に努めること

としており、引き続きJ Aの米集荷にご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、今日の米の価格上昇につきましては消費者側の理解が不可欠であり、全ての国内農畜産物消費拡大の観点からも様々な活動等、J Aの使命として対応にあたる必要があると考えております。

カントリーエレベーターの利用拡大につきましては、集落當農法人をはじめ組合員のみなさまの更なる利用を呼びかけるとともに、行政からの支援をいたきながら計画的に修復稼働に取り組んでおりま

す。新當農センター構想につきましても継続した協議を重ね、構想に沿った新施設の建設に向けて進められており、老朽化した各集出荷場については、多目的選果施設建設委員会を立ち上げ、國の新基本計画実

装農業構造転換支援事業の申請手続きを行い、國・県・市と連携し新設に向けて取り組んでおります。

J Aを取り巻く環境は管内人口の減少・組合員の高齢化などにより、この10年間で大きく変容しました。事業規模の縮小を受け入れることや、持続的な

とわくわくする革新的事業・洗練されデザインされた「言葉や仕組み」を検討し、若い方の思いを受け止めしていくことが必要であり、今まで以上に若者との接点づくりに努めてまいります。

年頭にあたり組合員・利用者の皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。4次中期経営計画」は、これまでの事業改革の進捗

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



状況及び「第3次中期

経営計画」の検証と総

括をし、事業環境の変

化を踏まえながら管理

部門の一本化を中心と

した「事業本部制」の

導入を検討することな

ど、更に踏み込んだ経

営改善に取り組まなければなりません。組合員・利

用者の皆さま方へは総代説明会・集落座談会等を通

じまして、取り組み状況の説明やご意見を伺うことで

今後の経営に活かしてまいりたいと考えております。

先にも述べましたが、農村部を中心とした過疎化・

高齢化・担い手不足等、J Aを取り巻く環境は非

常に厳しい状況であります。今後の将来を考え「もつ

とわくわくする革新的事業・洗練されデザインされ

た言葉や仕組み」を検討し、若い方の思いを受け止

めていくことが必要であり、今まで以上に若者との

接点づくりに努めてまいります。

年頭にあたり組合員・利用者の皆様方のご活躍と

ご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



まちむらネットワーク

第6回日原支店年金友の会総会

J Aしまね日原支店年金友の会（橋本正嗣会長）は12月6日、津和野町立日原小学校体育館において会員130人が参加し、第6回日原支店年金友の会総会を開催しました。

開会にあたり橋本会長は「ウクライナ戦争が長引き株高円安といった状況の中、諸物価の高騰に加え主食である米の値段が高く本当に国民は疲弊している。私ども年金受給者がいきいきと元気で暮らし、人生最後の直線コースを走りぬくためには、健康が第一だな」と身をもって体験した一年だった。こうした年金友の会の総会もJAの支援によって開催することができ、私ども年金受給者もJAと共に良い町づくり・良い地域づくりにお互いに手をとりあって進んでいけたらと思う。この1年を締め括り新しい年を迎えるためにも、お互い健康で元気にお過ごしいただきたい」と挨拶しました。

続いてJAを代表して西いわみ地区本部竹長隆本部長は、自己紹介に合わせて「JA利用に対する感謝を伝え、「いつまでも元気でご活躍いただき、本日はゆつくり過ごして楽しんで下さい」と挨拶しました。

公務ご多忙の中ご出席いただいた下森博之津和野町長より「皆様一人一人が一日一日を笑顔で楽しく過ごしていただくことが第一。本日の総会が充実した一日を送る生活のひとコマとなるよう祈念します」と挨拶いただきました。

続いてJAしまね日原支店芝田剛支店長が情勢・活動報告を行い、支店職員の紹介、大会申し合わせの唱和と続き、閉会の挨拶を地元選出の中村力監事が行い、第6回日原支店年金友の会総会を終了しました。



橋本会長挨拶

浜田市を拠点に活動する夏風亭一門による落語。



まずは夏風亭清掃員（クリーン）さんのお馴染み「寿限無」



続いて夏風亭志ん悟座長の落語「天失氣」

綿貫さんはオープニングこそステージ上で歌ったものの、フィナーレまで皆さんのが席近くで話しかけたり歌ったり、写真撮影に応えたりと会場は大いに盛り上りました。



秋田の手踊りも披露。



バチで叩くように弾く「津軽三味線」は圧巻でした。



自身用意した飴を会場の皆さんへプレゼント。



出雲市出身の綿貫ゆか歌謡ショーの始まりです。



ステージを降りて会場の全ての皆さんの席を回って握手・握手・握手……。

総会終了後休憩を挟み、青森県出身の沢悠佳さん（浜田市在住）の唄と三味線でアトラクションが始まりました。

まちむらネットワーク



令和8年産「つや姫」栽培研修会

J Aしまね西いわみ地区本部営農経済部米穀課と島根県農林水産振興センター益田事務所農業部は11月28日、午前（益田市）・午後（鹿足郡）と2会場に分かれ、令和8年産つや姫の栽培研修会を開催しました。2会場の参加者は合わせて60人以上と多くの栽培希望者で席は埋まり、コシヒカリに替わる特別栽培米の特性や栽培の注意点などについて説明を受けました。

山形県生まれのつや姫は、種苗法に定める育成者権によって保護され、許可なく栽培したり販売することはできません。島根県においても収穫された粉はしつかりと管理され、他者への販売はもちろん自家採取をすることもできません。（全量出荷で種子は毎年更新）

J A以外へ出荷販売される方は「有機JAS認証」の取得、もしくは「しまねエコ農産物に係る表示ガイドライン」に基づき、しまねエコ農産物の生産・表示・販売を行うことが義務付けられています。

西いわみ管内における令和7年産つや姫の生産状況は、120人の生産者によって206haの作付けがされ、一等米比率は67・7%（コシヒカリ53・5%）となっています。令和8年の生産においても30a以上の面積を作付けし、化学窒素成分は10aあたり4kg以内に抑え、使用できる農薬を10成分までとする「特別栽培米基準」に基づく生産管理が求められます。



益田会場（益田合同庁舎）



鹿足会場（JAしまね日原経済出張所）



12月3日 吉賀会場（JAしまね六日市支店）



12月4日 益田会場（益田合庁）



12月5日 津和野会場（津和野町役場）

J Aしまね西いわみ地区本部営農経済部米穀課と島根県農林水産振興センター益田事務所農業部は12月2日・4日・5日の3日間、収量・品質向上に向けた研修会を行いました。

3日間3会場に分けて開催した研修会では、令和7年産米の10月31日現在のデータをもとにした島根米の集荷実績や、検査等級比率とその格下げ理由等について説明があり、島根県内の集荷実績は20,294トンと前年対比97%、販売実績は1,782トンと前年対比46・2%の状況で推移しているとの報告がありました。西いわみ管内の集荷実績については、11月28日現在30kg袋で82,601袋（前年対比91・5%）の状況となっています。

県下の一等米比率は全品種の平均が約50%で、主な格下げ理由としては心白腹白粒が51・2%と高く、統いて整粒不足・カメムシ被害などが挙げられました。令和8年産米生産に向けたJ Aしまねの考え方としては、作付面積を令和7年産と同程度の15,700haに設定し、有機米や良食味米つきあかりの面積拡大をはかり、異常高温化における栽培技術指導に取り組むことしました。

収量・品質向上に向けた米づくり研修会



まちむらネットワーク



令和8年産に向けて品種の選択等熱心な意見交換が行われました。

令和7年産益田メロン出荷反省会

J Aしまね西いわみ地区本部と益田メロン部会（世良竜一部会長）は12月18日、西いわみ地区本部会議室で令和7年産益田メロン出荷反省会を行いました。

開会にあたり大崎弘康営農経済部長は、業務の都合により出席が叶わなかつた竹長隆本部長の挨拶文を代読した後、「令和7年産の反省点を来年のメロン栽培に活かしていただきたい。来年をリベンジの年と位置付けて共に頑張りたい」と挨拶しました。

続いて夏作・秋作それぞれの反収において優秀な成績を収めた瀧谷記幸さん（夏作）、松本貴之さん（秋作）に優績者表彰が授与されました。

世良部会長は挨拶で「近年の米を含む諸物価の高騰等の影響から、市場での取引に苦戦が見られ、猛暑の影響等で生産面においても厳しい栽培管理が求められた。今年産の結果をしっかりと受け止めた上で、気持ちを切り替えて来年の生産にあたりたい」と今年産の結果に対する反省と、来年に懸ける強い思いを語りました。

来賓の挨拶・紹介の後、令和7年産益田メロンの出荷・販売実績並びに、各市場における取り扱い状況について報告を行いました。また、島根県西部農林水産振興センター益田事務所農業部から、栽培技術上の反省点について資料説明があり、令和7年の気温の推移や病害虫防除等に関する情報提供と来年産に向けた注意喚起がありました。

最後に優績生産者二人から今年産を振り返って、課題点や工夫した点などについて発表が行われ、次年度の栽培に向けて有意義な出荷反省会となりました。



世良部会長挨拶

津和野町へ要請書を提出

津和野町農政会議（永田寿秋会長）は12月2日、津和野町役場本庁舎を訪問し下森博之町長、草田吉丸町議会議長に宛てた「令和8年度津和野町農業関係政策・予算に関する提案・要請書」を提出しました。



重点要請を気候変動に対応した農産物等の生産向上対策として、「施設栽培における気温上昇に対応するための施設内の改修等環境改善に対する支援」、「高温耐性品種の導入に向けた町としての取り組み強化」を掲げ、米穀・特産（タラの芽・お茶・柿・菊・栗・山葵）・畜産・野菜・法人連絡協議会・津和野町農業青年クラブ、それぞれの立場から課題・意見を盛り込みました。



まちむらネットワーク



令和7年度地域活性化団体の活動表彰 喜時雨グラウンドゴルフ同好会

J Aしまねが地域貢献や地域の活性化に取り組む団体を支援する、令和7年度地域貢献・地域活性化支援事業に応募申請があつた中から、津和野町田二穂を拠点に活動する喜時雨グラウンドゴルフ同好会（藤井康二会長）の取り組みが評価され12月10日、津和野経済センター会議室に団体の代表二人を招き、松浦利幸支店長が表彰状を手渡しました。

高齢化社会においてグラウンドゴルフを通して、活力ある地域の発展と健康維持を目的に、平成25年に結成、毎月1回の例会を開催しこれまでの参加人数の累計は2,749人（令和7年7月現在）となっています。

集落内の行事事

参加はもちろん、様々な団体（社会福祉施設・中学校等）や個人とも交流を深め、身体の健康維持と同時に心の健康にも寄与つながる活動が評価され今回の受賞に至りました。



左から松浦支店長、代表の藤井康二さん、石井健達さん



ツリーの作製を終えて少し早めのクリスマスパーティー!?

J Aしまね西いわみ女性部西益田支部（山本喜久子支部長）は12月6日、西益田支店会議室で「小さなクリスマスツリーブルーム教室」を開催しました。ツリーづくりにチャレンジしようと参加した皆さんには、同支部会員の大庭純子さんの指導で作製にかかり、それぞれ独自性のあるクリスマスツリーを完成させました。出来上がったツリーは各自で持ち帰り、それぞれの家族でクリスマスを楽しく過ごしました。



同支部は令和6年末にはガーデンシクラメンなどを使った、高さ30cmのミニ門松を作製しています。



小さなクリスマスツリーブルーム教室



まちむらネットワーク

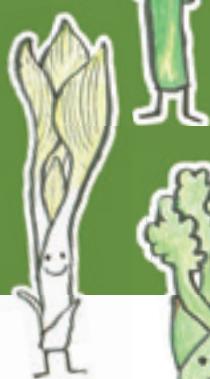
女性部津和野支部が恒例となつた ペットボトルキャップを届けました

西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は今年度もエコキャップ運動に取り組み、12月17日に津和野町社会福祉協議会の小山隆事務局長へ11・2kgのキャップに合わせ米10kgを届けました。中川支部長は「これからもエコキャップ運動の目的を部員さんへ伝え、回収に努めていきたい」と話しました。

エコキャップ運動にはリサイクルの促進、CO₂の削減、売却益での発展途上国の医療支援、リサイクル過程における障がい者・高齢者雇用の促進など様々な効果があるとされ、NPO法人エコキャップ推進協会の報告によると、累計寄付総額は2億3,800万円に上るということです。



KOGOMI



URUI



TARANOME

味わう採る旬のさきどり

にちはらの山菜 試食会 令和8年3月8日(日) 10時～11時

山菜栽培に興味のある方は営農相談とセットで
収穫体験に参加できます。

要予約

11時集合(先着10名 5名ずつ2か所)

QRコードまたはお電話にてご予約ください



開催場所

道の駅シルクウェイにちはら 島根県鹿足郡津和野町池村1997-4

予約：JAしまね西いわみ地区本部 日原集荷場 0856-74-0882

主催：日原タラの芽生産組合

令和6年産島根米の精算結果について

J Aしまねでは、生産者の皆様から出荷いただいた「令和6年産島根米」を以下の考え方によつて、買取手法を取り入れた会計管理を行っています。

1. 集荷数量が確定する6月末までに販売した残数をJAが時価相当額で買い取る。
2. 出荷時の「仮単価」と上記1をもつて精算を約1年に短縮する。
3. 販売代金・経費の情報開示による透明性の確保と端額を除き全額精算する。

つきましては、6月末までの販売分について会計管理（共同計算方式）を行った結果、精算可能な財源が確保されましたので、以下のとおり最終精算金をお支払いするとともに、精算概要についてご案内申し上げます。

(税込)

収入・支出項目		単位	合計
	販 売 数 量	トン	1,970.97
収 入	販売代金	円/60kg	19,521
	その他	//	310
	合 計 A	//	19,831
支 出	仮単価・追加金支払	//	17,907
	流通・保管等に係わる経費	//	559
	事故処理経費	//	3
	手数料	//	15
	生産・集荷・販売等に係る経費	//	101
	需給調整経費	//	0
	監査委員会費用	//	1
	その他	//	69
	合 計 B	//	18,656
	収入－支出 C=A-B	//	1,175
都度精算	D	//	521
共計事業預り金残高	E=C-D	//	655
翌年産共計繰越	F	//	10
最終精算金	G=E-F	//	645

※四捨五入のため、内訳と合計が合わない場合があります。

○最終精算振込日 令和7年12月10日

令和6年産生産者最終価格 (30kg) (税込)

(例) JA米コシヒカリ1等上 8,400円+600円+322.41円=9,322円
(R6出荷時) (R6.12) (R7.12)



島根の新しいお米に 名前を付けてください



近年、夏の暑さにより、お米が白く濁るなど品質や収量の低下が大きな問題となっています。

島根県やJAしまねでは、新品種の導入に向けて検討を進めてきた結果、県が育成した新しい品種「島系84号」が夏の暑さに強く、品質や収量、食味に優れていることを確認しました。

これから、有力候補として名前を付けて、現地試験や販売先の評価をもとに、さらに検討を進めていくこととしましたので、広く愛され親しみやすい名称を募集します。



暑さに強く多収、食味も良好

- 収穫時期はコシヒカリと同じ9月上旬頃
- 夏の暑さに強く、収量もコシヒカリより(約20%)多い
- 食味はコシヒカリと同等に優れる
- 米の粒が大きく、炊き上がりも美しい

(島根県農業技術センターの試験より)



水稻新品種 「島系84号」 名称募集要項

[募集期間] 令和8年1月7日(水)～令和8年2月10日(火)

[応募資格] どなたでも応募いただけます

[募集内容] ●名称の候補・読み方

- ・親しみやすく覚えやすいもの(10文字以内)
- ・ひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベットのいずれかを使用したもの(組み合わせ也可)
- ・お一人様1点(未発表のオリジナルに限る)

●名称の由来、理由、コンセプト(50～100字程度)

[応募方法] ①か②のいずれかの方法でご応募ください。

- ①二次元バーコードから必要事項を入力してください。
- ②官製はがきに下記の必要事項を記載して郵送ください。

- 名称の候補、読み方
- 名称の由来、理由、コンセプト
- 氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、年齢、電話番号

[応募先]

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
島根県農山漁村振興課 「新品種名称募集」係 宛



しまね電子
申請サービス

[賞品]

最優秀賞[名称採用者1名](複数の場合は抽選で決定)

**島根県産米 84kg &
1万円相当のしまね和牛**



優秀賞[10名程度]

島根県産米 10kg

[結果発表] 令和8年6月～7月に決定し、
ホームページ等で公表します。
・また、入賞された方には直接通知します。

[注意事項] 応募作品に修正を加える場合があります
・採用した名称の著作権、使用権等一切の権利は島
根県に帰属するものとします
・個人情報は厳正に管理し入賞の通知、商品の発送
の目的で利用させていただきます

※画像は全てイメージです

[問い合わせ] 島根県農林水産部農山漁村振興課 TEL 0852-22-5129

お題
「初詣」

俳句・川柳

3月のお題は「鶯」です

ご応募お待ちしております

◆締切
令和8年
2/15
(当日消印有効)

初詣	世界の安寧	祈願する
新年の	健康祈る	老婆かな
初詣	みんなでしよう	いい年に
忙しなや	除夜鐘を聞き、	初詣
初詣	年のはじめの	神だのみ
初詣	一族揃つて	初日の出
初詣	兩指余る	願い事
子も孫も	皆んなでかしわ手	初詣
初詣	健康祈願	世の平和
孫テスト	合格願つて	初詣
初詣	わざかなさい錢で	あれもこれも
氏神を	親子で拝む	初詣
才モチヤ屋に	孫に連れられ	初詣
初詣	今年も祈る	家内安全
初詣	願いは一つ	世界平和
参道の	玉砂利の音	初詣
初詣	願う内容	空手形
大みそか	紅白終わり	初詣
初詣	除夜のかねに	さそわれて
老化体	我が家の中神に	初詣
初詣	おみくじ引いて	嬉し顔
人波に	もまれクタクタ	初詣
大鳥居	しらじら明けし	初詣
寝間着まま	お宮にむかい	初参り
もう行けず	濡れ手で拝む	初詣
初詣	誓司句碑側	磴のぼり
カメムシや	寒風さけて	くつ下へ
今年もまた	病気平癒を	初詣

(益田市	加藤 富之さん
(益田市	棕木 節子さん
(益田市	野村 芳子さん
(益田市	岡崎 雄一さん
(益田市	佐々木 いさ子さん
(益田市	吉村 芳江さん
(益田市	喜村 信江さん
(益田市	和崎富久代さん
(益田市	田中千代子さん
(益田市	小笠原かよみさん
(益田市	齋藤 照平さん
(益田市	村上登美子さん
(益田市	糉山 敏子さん
(益田市	竹田 和夫さん
(益田市	大井 守さん
(益田市	大羽 克己さん
(益田市	日熊 春子さん
(津和野町	瀧谷美保子さん
(津和野町	高谷喜里栄さん
(津和野町	藤井 礼子さん
(津和野町	斎藤 久衛さん
(津和野町	古山 包子さん
(津和野町	中野 健二さん
(吉賀町	田村 民子さん
(吉賀町	安村ソトメさん
(吉賀町	竹中 和博さん
(吉賀町	中村恵己子さん

応募
方法

- 葉書に 俳句・川柳を明記してください。 住所、氏名、電話番号をご記入ください。
- あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課

『移動型店舗 パリミキカー』



1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

メガネ・補聴器の専門店 PARIS MIKI

令和8年 2月度 JA巡回スケジュール

西いわみ地区

4日(水)	9時半～13時	匹見事業所	16日(月)	9時半～13時	津和野経済C		
6日(金)	9時～12時	中西事業所	18日(水)	9時半～13時	匹見事業所		
	13時～16時	益田グリーンセンター					
19日(木)		10時～15時	パリミキフェア 美都事業所(会議室)				
20日(金)		9時～13時	日原経済C				
25日(水)		10時～15時	Aコープラボ店前 (益田東支店) P				
10日(火)	10時～13時	六日市経済C					
12日(木)	9時～12時	西益田支店	20日(金)	9時～13時	日原経済C		
	13時～16時	益田中央支店					
13日(金)	9時半～13時	柿木事業所					

お問合せ、訪問のご相談は 直通 090-6955-1612 へ お気軽はどうぞ



西いわみ地区本部からのおしらせ

期限切れ廃棄農薬回収のご案内

回
收
実
施
日

令和
8年
2月3日(火)

回
時
收
間

午前9:00~11:00

●回収対象農薬

○毒・劇物・一般物

粉剤・粒剤・水和剤・液剤

○くん蒸剤・くん煙剤

○空びん・空容器等



●回収指定場所

益田市	J A 営農センター
	J A 美都事業所
	J A 匹見事業所
津和野町	J A 津和野経済センター
	J A 日原支店
吉賀町	J A 柿木事業所
	J A 六日市支店

※委任状を書いていただきますので、必ず印鑑をご用意ください。

処理経費は1kgあたり440円(税込)の予定です。
回収日の回収時間以外は引き取りは致しません。

お問合せ先／JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部 経済課 0856-23-0933

期限切れ廃棄農薬の分別方法

毒・劇物・一般物

・粉剤・粒剤・水和剤

毒・劇物・一般物

・液剤

くん蒸剤
くん煙剤

不明物

空容器

- ・プラ容器
- ・ガラス空ビン
- ・くん蒸・煙空缶
- ・ポリ缶
- ・ブリキ一斗缶

必ず上記のように分別して、それぞれダンボール箱に入れてください。ダンボール箱には、分別名と氏名を記入してください。

産業廃棄物を運搬する車両の表示及び書面の備え付け（携帯）が必要です。



次の事項を記載した書類

- ・氏名又は名称及び住所
- ・運搬する産業廃棄物の種類、数量
- ・運搬する産業廃棄物を積載した日
- ・積載した事業場の名称、所在地、連絡先
- ・運搬先の事業場の名称、所在地、連絡

詳しくは、環境省のホームページをご覧ください。

※各経済店舗にて表示用マグネットシールを販売しています。

※各経済店舗にて表示用マグネットシールを販売しています。

税 益田税務署からのお知らせ

確定申告は e-Tax で完了！

マイナンバーカードで自宅から！

▶国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」から、スマートフォン等で申告書を作成し、マイナンバーカードでオンライン提出！

▶マイナポータル連携で、給与、年金のほか、控除証明書等のデータが自動入力！



e-Tax のメリット

- ▶自宅から申告可能
- ▶24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く
- ▶申告書がデータで確認可能
- ▶添付書類提出不要 ※一部書類は除く
- ▶早期還付（3週間程度で還付）

マイナンバーカード、電子証明書の有効期限にご注意を！

▶有効期限を過ぎた場合、e-Tax 手続が利用できません。

▶確定申告期は、窓口（市区町村）の混雑が予想されます。お早めに更新手続を。



▲詳細はどちら
「デジタル庁公式 note」

確定申告会場をご利用される方へ

▶会場ではご自身のスマートフォンを利用して申告をご案内しています。来場の際は、①スマートフォン、②マイナンバーカード、③マイナンバーカードのパスワード2つおよび④申告作成に必要な書類をご準備ください。

▶会場の受付時間は午前8時30分から午後4時までです。

▶会場の設置期間は2月16日から3月16日までです（土・日曜・祝日を除く）。

▶不動産の売却や贈与税の申告相談を希望される方は、3月2日から3月13日までにお越しください。

申告と納付の期限

【所得税および復興特別所得税、贈与税】 令和8年3月 16日（月）
【消費税および地方消費税（個人事業主）】 令和8年3月 31日（火）

詳しい情報は国税庁ホームページへ

国税庁

で検索

問い合わせ先／益田税務署 TEL(0856)22-0444(代表)



JAしまね

参加無料

農業資金説明会＆個別相談会

▶ 対象者

農業者、集落営農組合、農業生産法人等

▶ 開催日時、場所 【益田市会場】

令和8年1月29日（木）

14:00~15:30 資金説明会

15:30~16:00 個別相談会

西いわみ地区本部3階会議室



▶ 開催日時、場所 【津和野町会場】

令和8年1月30日（金）

10:00~11:30 資金説明会

11:30~12:00 個別相談会

津和野支店経済センター2階会議室

▶ 開催日時、場所 【吉賀町会場】

令和8年1月30日（金）

14:00~15:30 資金説明会

15:30~16:00 個別相談会

六日市支店2階会議室

▶ こんなお悩みありませんか？

- ・資金の種類がありすぎて、どの資金がいいのか分から…
- ・機械の更新をしたいけど、低利な資金は無いかな…
- ・事業の拡大をしたいけど、運転資金が不足しそうだな…

資金の種類、特性、仕組み等を分かり易くご説明致します！

資金説明会、個別相談会を開催致します。参加希望の方はご連絡をお願い致します。

連絡先：西いわみ地区本部統括支店 ローンセンター
(0856-22-1590) または、お近くの支店まで

* 説明会・相談会で取り扱ったお客様に関する情報は他の目的への使用を厳禁とし、本説明会・相談会の関連団体以外には一切提供いたしません。

西いわみ農業青色申告会加入募集

青色申告を基礎とした税務、経理及び経営の研究を行うと共に、農業経営の合理化と健全な発展に寄与することを目的とする、「西いわみ農業青色申告会」へ加入しませんか？



● 年会費：3,000円

● 主な活動内容

☆ 税務研修会の開催

☆ 青色申告に関する情報提供

● お問い合わせ

JAしまね西いわみ地区本部

営農経済部 営農企画課

TEL: 0856-23-1911

島根県西部農林水産振興センターからのお知らせ

「耕畜連携」 に取り組んでみませんか

☑ 耕畜連携とは？

耕種農家



畜産農家



飼料の供給

堆肥の供給

畜産農家が給与する飼料や農作物生産に用いる肥料は、海外への依存度が高く、国際情勢の変化や円安により価格が高騰し農業経営を圧迫するリスクがあります。

こうしたリスクを減らすために、**地域内で生産された飼料を畜産農家が利用し、家畜ふん堆肥を農地に還元する「耕畜連携」**の取組が重要となっています。

☑ 耕畜連携のメリット

耕畜連携の取り組みには、次のようなメリットがあります。

- 省力的な栽培管理が可能なため、作業分散や農地の維持につながる
- 堆肥の利用により肥料コストの削減や土壤改良が図られる
- 循環型農業やSDGsの考えに則った農畜産物を生産することができる



西いわみ地区でも耕畜連携の取り組みが広がっており、畜産農家の国産飼料への関心や需要も一層高まっています。島根県では、持続的な農業の実現のため、耕畜連携のさらなる拡大・定着や持続可能な体制づくりを関係機関とともに支援します。

☑ 耕畜連携に取り組みたい方へ

当事務所では、耕畜連携に取り組まれる方へのマッチング支援等を行っています。ご相談やマッチング希望がございましたらお問い合わせください。



お気軽にお問い合わせください

- 飼料作物の生産・拡大に取り組みたい
- 畜産農家から堆肥の供給を受けたい

〈お問い合わせ先〉 島根県西部農林水産振興センター益田事務所 TEL：0856-31-9615

Check!

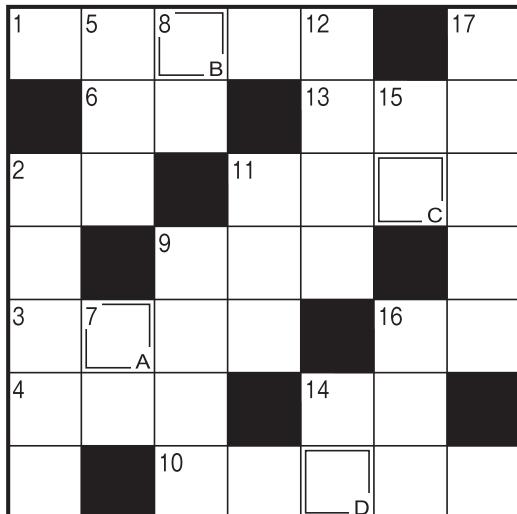
クロスワード パズル

農協全国商品券を
もらっちゃおう!!



二重マスの文字をA～Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテのカギ

- ②東京にある、昔は電気街、今はポップカルチャーの街
- ⑤はたきで払うもの
- ⑦い草などで編んだ敷物
- ⑧天井や空がある方向
- ⑨長さの単位のひとつ。記号はft
- ⑪眠くなると下がってきます
- ⑫外湯めぐりで知られる兵庫県北部の温泉地
- ⑭鬼は外、——は内
- ⑯日本刀の手で握る部分
- ⑯すべては忘却の——だ
- ⑰チョコレートケーキの——をスマホで調べた

出典：(株)日本農業新聞『JA広報通信』2026年1月号

ヨコのカギ

- ①節分にまるかぶりします
- ②働き者のイメージがある昆虫
- ③羽根つきに使う道具
- ④保育園の——に手編みの帽子を出品した
- ⑥張り上げたりひそめたり
- ⑨強い風に雪が舞います
- ⑩作業機をけん引してさまざまな農作業をこなします
- ⑪金太郎が担いでいるもの
- ⑬ドアをコン、コン
- ⑭魚へんに付と書く魚
- ⑯寒いところやすくなる人もいます

応募要項

●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。

◆先月号の答え◆

「サンガニチ」



●賞品

正解者の中から抽選で30名 (JAしまね全体)の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

J Aしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係
2026年2月6日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で71人の方からご応募いただきました。

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！
ご購読は、お近くのJAへお問合せください。



六人の修学旅行爽やかに
神集ふ北山鶯の高舞へり
神宿る注連縄太し神在月
販売機の冬の水買うドイツ人
小春日やけんかをしてはすぐ忘れ

浜田市 小川美砂子 様
安来市 岡本 陽 様
西ノ島町 川上 阳 様
茂 様
堺 様

佳作

「ちゃん」で呼ぶ竹馬の友とおでん酒

出雲市 金山

出雲市 藤江

出雲市 北村

浜田市 中田

功 様

浜田市 徹 様

初日記余白に一句書き添へる

顔洗ふ水の変化に秋感ず

浜田市 北村

浜田市 中田

功 様

浜田市 徹 様

(評) 大晦日雪や雨で汚れている地蔵に笠をかぶせた善行により爺が福運をさずかるという話を子どもに読み聞かせをする作者。すばらしい拍手。

笠地蔵選び師走の読み聞かせ

浜田市 三沢 孝子 様

最優秀賞
優秀賞
秀賞
選句者「白魚火」編集長・副主宰
安食彰彦先生

J Aしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)
2月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限りません。
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
J Aしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX : 0852-67-7708
Eメール : fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはございません。

JAの自動車共済
にすると

えっ!こんなに安くなるの!?

共済掛金の安さ!

- JA自動車共済を選んだ理由を教えてください!

- 掛金が安い**
- 保障内容が良い
- 契約者対応が良い

お島根県の方に
お聞きしました

- JAの自動車共済にしてどのくらい安くなりましたか?



島根県JA自動車共済
新規契約者向けアンケート
(令和6年3月末時点)



島根県で 約145,000台=約4台に1台 がJAの自動車共済です!!

選ばれています!!

令和6年3月末時点 JA共済連島根調べ

25320320137



簡単なアンケートに答えるだけで

豪華賞品が
当たるチャンス!



応募はこちる▲

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

ジュンテンドー利用による「おさいふカード会員」特典について

★会員特典を受け取るために

ジュンテンドー会員カード「いきいきポイントカード」とJA「おさいふカード」の連携登録が必要となります。(既に登録されている方は必要ありません。)

ご希望の方は、カードを持ってお近くのジュンテンドー店舗にてお手続きください。

★会員特典 (対象商品: ジュンテンドー取扱い全商品)

お買い物時にジュンテンドーの「ポイントカード」をレジにて提示してください。

1. ジュンテンドー「いきいきポイントカード」へのポイント付与

通常1取り引き200円(税抜)につき1ポイント付与のところ、会員は200円(税抜)につき2ポイント付与となります。…会員ならポイントが通常の2倍!!

ただし、ポイント付与は、現金、JAカード(クレジット)支払いの場合のみとなります。

※法人名義のクレジットカード払いはポイント付与対象外となります。

2. JAしまね「おさいふカード」へのポイント付与

JAしまねの「おさいふカード」には現金、クレジットカード、QR決済のお支払い方法でも、年間購入金額10,000円(税抜)につき30ポイント付与します。(組合員以外は15ポイント付与)

3. JAカード(クレジット)「わいわいポイントカード」へのポイント付与

JAカード(クレジット)にてお買い物された場合、JAカードの「わいわいポイント」に、通常ポイント付与に加え、別途ご利用金額1,000円につき20円(2%)を原則ご利用月の翌々月にポイントで還元します。

※法人名義のクレジットカード払いはポイント付与対象外となります。

お問い合わせ: 本店資材課 TEL: 0853-25-8745

[いきいきポイントカード]



[おさいふカード]



JAしまね 総合ポイントカード
「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ

JAしまね×洋服の青山・はるやま



店内全商品 割引後価格から更に

10%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗

<洋服の青山>松江店・島根斐川店・出雲浜山通店・浜田店・米子本店・三次店
<はるやま>松江店・島根三刀屋店・出雲店・浜田店・益田店・米子店・三次店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。※洋服の青山ではAOYAMAタイアップカード入会(入会無料)が必要となります。



JAしまね

お問い合わせ／本店経済課

TEL: 0853-25-8912



JAしまねひより

島根うまれの食材レシピ しまねうレシピ

島根県『家の光』講師
飯塚生美子 先生

シャキシャキ野菜と春雨のエスニックサラダ

材料（4人分）

白菜	3枚 (300 g)
サラダ水菜	1/2袋 (80 g)
パプリカ(黄)	1/2個
むきえび	12尾
春雨	60 g
レモン汁	大さじ2
にんにく(すりおろし)	1/2かけ
A ごま油	小さじ1
鶏ガラスープの素	小さじ2
薄口しょうゆ	大さじ1
塩	ひとつまみ

作り方

- 白菜は5~6cm長さの細切りにし、ボウルに入れて塩を少々ふり、しんなりするまで置き(10分間くらい)、水気を絞る。
- サラダ水菜は4cm長さの細切りに、パプリカは細切りにする。
- むきえびは背ワタを取り。鍋にお湯を沸かし、春雨を入れてほぐし、火を止め、4分間そのまま放置する。春雨をザルに取り、残ったお湯を再び沸かして、えびを入れ、中火で2~3分ゆでてザルにあげ、水気を切る。
- 大きめのボウルにAを混ぜ合わせ、準備した材料を加えて和える。

コメント

・いつものサラダヒ一味違う、アジアン風味のサラダです。



アレンジ

- 野菜はキャベツ、きゅうり、たまねぎ、大根、にんじん、ラディッシュ、パクチー、セロリ、もやしなど組み合わせは自由です!
- えびをほかで、鶏肉、豚肉、ハム、ウインナー、ベーコン、スマートサーモンなどにかえても美味しいです。
- 唐辛子やラー油などの辛みをプラスしたり、しょうゆの代わりにナンプラーを使ったりすると、よりエスニックな仕上がりになります。

鶏肉とブロッコリーと豆腐のナゲット

材料（4人分）

鶏ももミンチ	250 g
豆腐	150 g
ブロッコリー	150 g
ピザ用チーズ	15 g
中華だし(顆粒)	小さじ2
片栗粉	大さじ3
オリーブ油	大さじ1
あすっこ	1袋
塩こしょう	少々
トマトケチャップ	大さじ4

作り方

- ブロッコリーはみじん切りにする。(ゆでてからみじん切りしてもOK!)
- あすっこは、4~5cm長さに切る。(軸の硬いところは皮をむく)
- フライパンに鶏ももミンチと豆腐をよく混ぜ合わせたら、残りのAの材料を入れ、しっかりと混ぜ合わせる。
- フライパンの中で適当な大きさの小判型に形成して並べ、縁にオリーブ油を流し入れ、中火で蓋をして5分間くらい焼く。
- 焼き色がついたら裏返して、蓋をして3分間焼く。
- 両面色よく焼けたら、皿に取り出す。
- 空いたフライパンにあすっこを入れて炒め、塩こしょうで味をつける。
- ⑥の皿に⑦とケチャップを添える。

コメント

- フライパンの中で材料を混ぜるため、洗い物が少ない簡単料理です。
- 冷めても美味しい!お弁当のおかずにもぴったりな一品です。



アレンジ

- トマトケチャップにマヨネーズを混ぜてオーロラソースをつけても美味しいです。
- ・ブロッコリーを太ねぎ、もやし、にんじん、カリフラワー、きのこなどにかえてもOK!

JA 島根厚生連

健康散歩

新しい年は、安全な入浴習慣から

1月は1年の始まり。気持ちを新たに、生活習慣を見直したい時期ですね。

寒さが堪える冬、体の冷えや疲れを感じている方も多いのでは。こうした寒い季節には、入浴が体調管理の助けになります。入浴は体を温め、疲れを癒してくれる効果があります。一方で、冬は入浴事故が増える季節でもあります。

厚生労働省人口動態統計(2023年)によると、全国で6,541人が浴槽内での溺死により亡くなっています。その9割以上が高齢者でした。同じ2023年の統計では交通事故による死者数は約2,116人。つまり、浴槽内での死者数は交通事故の約3倍にのぼり、家庭内の入浴事故がいかに多いかが分かります。

入浴事故の背景にあると考えられているのが「ヒートショック」です。暖かい部屋から寒い脱衣所へ移動し、さらに熱い湯につかることで血圧が急激に変動し、心筋梗塞や脳梗塞、失神などを起こ



すことがあります。高齢者の事故が多い一方、若者も油断できません。スマホを見ながらの長湯や、飲酒後の入浴による脱水により、めまい・意識障害の事故も報告されています。

安全に入浴時間を過ごすためにも、次のポイントを意識してみましょう。

- 温度差を小さくする
脱衣所へのヒーターの設置や、浴槽内を蒸氣で暖めるなどしましょう。
- 38~40°Cのぬるめのお湯に、10~15分つかる
急激な血圧上昇を防ぎ、心身をリラックスさせることができます。長湯は避けましょう。
- 入浴前後に水分をとる
冬でも汗をかくため脱水状態になりやすいです。意識しましょう。
- 飲酒後や、体調が悪い時は入浴を避ける
意識障害により、転倒などの事故につながる危険があります。

入浴には体にも心にも嬉しい効果があります。健康に一年を過ごすためにも、安全に配慮しながら楽しみましょう。